

1 諮問事項

切迫する首都直下地震に備え、効果的な活動の実現に向けた災害活動力の継続的な強化方策について

2 諮問期間

令和7年7月から令和9年3月まで（審議回数：令和7年度1回・令和8年度2回 計3回）

3 諮問の趣旨

令和6年元日に発生した能登半島地震では輪島市での大規模火災など17件の火災が発生し、消防団は自ら被災しながらも地域住民の命を守るため、避難の呼びかけや消火活動など懸命な活動を展開されました。

首都直下地震では600件を超える火災が発生すると想定されており、地域住民の安全安心を守るには、消防署隊との連携した訓練や活動はもちろん、消防団が主体的に実戦的な訓練を推進し、災害時に確実かつ効果的な活動を展開していくことが必要不可欠です。

その実現に向けては、地域社会の多様化に対応するために様々な主体との連携や取組に関する検討を進めるとともに、消防団の災害活動力を継続的に高めることが重要であり、併せて消防団員の負担軽減にも配慮した取組が求められます。

これらを踏まえ、切迫する首都直下地震などの大規模災害に備え、効果的な活動の実現に向けた災害活動力を継続的に強化していくための方策について諮問するものです。

課題	検討事項	検討の方向性
<p>【課題1】</p> <p>消防団員の負担軽減と活動環境の最適化が重要である。</p>	<p>消防団活動の効率化による負担軽減について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防団専用アプリ等の導入による消防団運営の効率化や情報連絡体制の強化 2 各種資機材の機能性、利便性向上に向けた改善方策の検討 3 従来の枠組みにとらわれない柔軟な訓練、行事による負担軽減方策の検討 4 操法大会（訓練含む。）の工夫や改善などへの提案
<p>【課題2】</p> <p>災害対応力の強化と訓練の実効性を高めることが重要である。</p>	<p>首都直下地震を想定した実戦的な訓練の定着について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 現行の訓練内容や方法の再評価による、効果的かつ効率的な訓練推進方策の提案 2 東京消防団 e-ラーニングシステムを有効に活用した教育訓練体系の構築 3 訓練経過や訓練内容の「見える化」（アプリとの連動など）の推進方策の検討 4 実災害に即した署隊との多様な連携訓練の推進 5 震災等における長期間の活動継続を視野に入れた訓練の検討と課題の抽出

可搬ポンプ積載車



災害出場や各種警戒、広報活動等を実施する際に使用します。
乗車定員：4名

可搬ポンプ運搬車



積載：動力ポンプ、吸管、ホース等
災害対応や警戒、操法大会等で使用します。

フロートロープ



このロープは水面に浮く機能を備えており、足元が冠水しても見失うことがなく、避難誘導や水難救助用のロープとして使用できます。

フローティングストレーナー



水防活動時において、可搬ポンプの吸管の先端に取り付け、浸水した区域の排水活動等に使用します。低水位の河川でも使用できることから、震災時の吸水にも活用できます。

携帯型救助器具



震災時における倒壊建物からの救助活動や交通事故等における車両のドア開放等に活用します。

チェーンソー



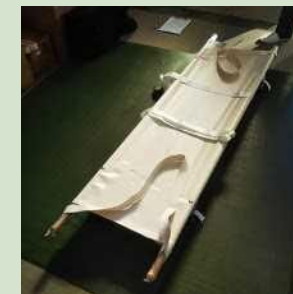
震災時等の活動において、木材等の切断に使用します。

万能オノ（ストライカー）



機械が使えないような所で、破壊作業が必要な時に使用する破壊工作用の器具です。持ち手を前後にスライドし、その衝撃力で破壊します。

担架



持ち運びが容易なように、折りたたむことができる担架です。震災等の災害時に傷病者を搬送します。

災害活動



12% ①災害活動

火災・救助・救急・震災・水災時の活動要領を学習します。

礼式



40% ②礼式

消防操練等の礼式について学習します。

新入団員教育資料



5% ③新入団員

消防団員ハンドブックに基づく基礎知識を学習します。

消防操法



0% ④消防操法

可搬ポンプ操法のポイント等について学習します。

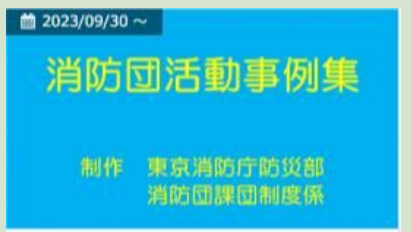
機関運用



0% ⑤機関運用・車両運行要領

可搬ポンプの取扱い、吸水から放水までの要領を学習します。

消防団活動事例集



0% ⑥消防団活動紹介

各消防団の独自の取組等を紹介しています。

特別区消防団資料



13% ⑧特別区消防団資料

消防団の各種活動マニュアルについて学習します。

多摩・島しょ消防団資料



0% ⑨多摩・島しょ地域消防団資料

多摩・島しょ地域の消防団向けにバイク隊の活動事例等を紹介しています。

防災クイズ等



0% ⑩その他(教養資料、防災クイズ、などなど)

ハラスメント教養資料や防災に関するクイズで学習します。

団員専用ページ



0% 特別区消防団員専用ページ

消防団のホームページで現在の取組等を紹介しています。

ポンプ中隊効果確認



消防署隊で行うポンプ中隊の効果確認に併せて火災対応を想定した現場活動の連携訓練を行いました。

指揮本部長の下命により延焼阻止に当たるなど実践的な訓練を実施しました。

救命ボート操船訓練



消防署隊で行う水防訓練に併せて、消防団との連携による救命ボートの操船訓練を行いました。

水難事故に円滑に対応できるよう組立から操船までの一連の訓練を実施しました。

救急訓練効果確認



消防署隊で行う救急訓練効果確認に併せて救急現場を想定した連携訓練（見取り訓練）を行いました。

実際に救急事故現場に遭遇した場合の対応や救急隊の処置等に対する理解を深めました。

震災訓練



震災訓練の機会を捉え、消防署隊と連携した救助訓練、放水訓練、応急救護訓練を行いました。

消防団が単独で主体的に災害活動できるよう訓練を実施しました。